

平成18年7月31日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人 日本環境衛生センター

平成18年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査の実施を予定しております。

本年度の調査に関しては、環境測定分析検討会において策定した「今後の環境測定分析統一精度管理調査のあり方について」に基づいて、既に環境基準値、測定方法等が定められている測定項目に関して調査する「基本精度管理調査」と、未だ基準値、測定方法等が確立されていない（あるいは確立されて間もない）測定項目や超微量物質等の高度な測定が要求されている測定項目について調査する「高等精度管理調査」について実施します。

基本精度管理調査としては土壌試料中の重金属類（水銀等）を対象とします。高等精度管理調査としては、大気試料中の揮発性有機化合物（ベンゼン等）、底質試料中の芳香族化合物（ベンゾ(a)ピレン）、底質試料中のダイオキシン類を対象とします。

環境省の依頼により、参加申し込み要領を送付させていただきます。

なお、今年度の調査についても、従来と変わらぬご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成18年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(地方公共団体)

1. 調査試料

区分	名称	容器(内容量)	個数	備考
共通試料1	土壌試料 (重金属類分析用)	ポリプロピレン製瓶 (約50g)	1	乾燥した土壌で100 meshのふるいを通したのもの
共通試料2	模擬大気試料 (揮発性有機化合物分析用)	キャニスター (約6リットル) (注)	1	空気バランスのガス
共通試料3	底質試料1 (芳香族化合物分析用)	ガラス製瓶 (約25g)	1	乾燥した海底質で100meshのふるいを通したのもの
共通試料4	底質試料2 (ダイオキシン類分析用)	ガラス製瓶 (約50g)	1	乾燥した海底質で100meshのふるいを通したのもの

(注)模擬大気試料は、洗浄した容器(キャニスター、6リットルのものに限る)を準備できない機関は参加できません。

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 土壌試料(重金属類分析用)

試料中の重金属類(水銀、砒素、全燐)の3項目を測定対象とする。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬大気試料(揮発性有機化合物分析用)

試料中の揮発性有機化合物(ベンゼン、ジクロロメタン、塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン)の4項目を測定対象とする。

b. 底質試料1(芳香族化合物分析用)

試料中の芳香族化合物(ベンゾ(a)ピレン)を測定対象とする。

c. 底質試料2(ダイオキシン類分析用)

試料中のダイオキシン類を測定対象とし、次に示すPCDDs及びPCDFsの異性体及び同族体とそれらの総和、ダイオキシン様PCB(DL-PCB、コプラナーPCB)異性体及びそれらの総和、毒性当量(TEQ)を分析する。

- ・ PCDDs及びPCDFsの異性体については、2,3,7,8-位塩素置換異性体(17異性体)とする。17異性体とは、PCDDs7項目(2,3,7,8-TeCDD、1,2,3,7,8-PeCDD、1,2,3,4,7,8-HxCDD、1,2,3,6,7,8-HxCDD、1,2,3,7,8,9-HxCDD、1,2,3,4,6,7,8-HpCDD及びOCDD)及びPCDFs10項目(2,3,7,8-TeCDF、1,2,3,7,8-PeCDF、2,3,4,7,8-PeCDF、1,2,3,4,7,8-HxCDF、1,2,3,6,7,8-HxCDF、1,2,3,7,8,9-HxCDF、2,3,4,6,7,8-HxCDF、1,2,3,4,6,7,8-HpCDF、1,2,3,4,7,8,9-HpCDF及びOCDF)である。

- ・ PCDDs及びPCDFsの同族体とそれらの総和については、四塩素化物から八塩素化物の各同族体とそれらの和とする。
- ・ DL-PCBの異性体については、ノンオルト及びモノオルト異性体(全体で12異性体)とする。12異性体とは、ノンオルト4項目(3,3',4,4'-TeCB、3,4,4',5-TeCB、3,3',4,4',5-PeCB及び3,3',4,4',5,5'-HxCB)及びモノオルト8項目(2',3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5-PeCB、2,3,3',4,4'-PeCB、2,3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5,5'-HxCB、2,3,3',4,4',5-HxCB、2,3,3',4,4',5'-HxCB及び2,3,3',4,4',5,5'-HpCB)である。
- ・ DL-PCBの異性体の総和については、ノンオルト体、モノオルト体とそれらの和とする。
- ・ TEQについては、PCDDs&PCDFs、DL-PCB及びそれらの和とする。なお、TEQの算出に当たっては、毒性等価係数(TEF)としてWHO/IPCS(1998年)に提案されたものを用いる。

3. 分析方法

(1) 土壌試料(重金属類)

「底質調査方法」(昭和63年環境庁水質保全局水質管理課)に定める方法(項目により異なりますが、吸光度法、原子吸光法又はICP発光分光分析法)

(2) 模擬大気試料(揮発性有機化合物)

「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」(平成9年環境庁告示第4号)又は「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」(平成9年環境庁大気保全局大気規制課)に定める方法(ガスクロマトグラフ質量分析法となります)

(3) 底質試料1(芳香族化合物)

「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル(水質、底質、水生生物)」(平成10年環境庁水質保全局水質管理課)に定める方法(ガスクロマトグラフ質量分析法となります)

(4) 底質試料2(ダイオキシン類)

「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準」(平成10年環境庁告示第68号)に定める方法(ガスクロマトグラフ質量分析法となります)

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期(予定)

9月下旬～10月上旬

(2) 報告期限(予定)

土壌試料及び底質試料1(芳香族化合物) : 11月下旬

大気試料及び底質試料2(ダイオキシン類): 12月中旬

ただし、分析結果報告の方法(ホームページ又は用紙による報告)により報告期限が異なります。ホームページによる報告の場合、用紙による報告に比べて期限が1週間程度遅くなります。

なお、分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定）「調査結果報告書」（環境省編）を送付いたします。

5．申込方法

申し込み方法には郵送による方法、ホームページによる方法があります。

郵送による方法は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記へ送付ください。

ホームページによる方法は、ホームページ「<http://www.seidokanri.jp/>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加の申し込み」（「分析結果の受付」の右方にあります）を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに記入してください。「機関コード」、「パスワード」のわからない機関（これまでに本調査に参加したことのない機関等）では、ホームページによる申し込みはできません。「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせします。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦下さい。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

- (1) 申込期限 平成18年8月31日（木）（必着）
- (2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
財団法人日本環境衛生センター
環境科学部 西尾、加藤
TEL 044-288-5132

6．その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

昨年度に引き続き、今年度も各機関の分析結果を公表（結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表）しますので、参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

(3) 分析結果報告後の訂正受付不可

昨年度と同様、一旦受領した報告については、計算間違いや記述間違い等による訂正があっても受け付けませんので、ご了承願います。

(4) 極端な分析結果

昨年度と同様、極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。また希望があれば、原因究明のための現地調査も実施する予定です。

(5) ホームページによる分析結果報告の作成

平成14年度より環境測定分析統一精度管理調査ホームページを公開し、本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.seidokanri.jp/>）。参加機関は、当ホームページによる分析結果報告を希望する場合は、従来の用紙による報告を受け付けませ

ん。ホームページによることが難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、ホームページによる報告の場合、用紙による報告期限に比べて一週間程度遅くなります。

(参考) 平成17年度参加申込機関数

(共通試料：模擬水質試料1、模擬水質試料2、模擬大気試料、ばいじん抽出液試料)

区分	都道府県	市	民間	合計
模擬水質試料1(重金属類)	48	50	398	496
模擬水質試料2(芳香族化合物)	16	9	85	110
模擬大気試料(揮発性有機化合物)	33	12	58	103
ばいじん抽出液試料(ダイキソ類)	25	5	137	167

平成18年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(地方公共団体)

機関名		
機関コード	(わかれば記入してください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL () -
	氏名	FAX () -
希望する試料 (数字及び分析 結果報告の方法 を で囲んでく ださい)	1. 共通試料1 (ホムペ-ジ、用紙)注) (土壌試料：重金属類分析用) 2. 共通試料2 (ホムペ-ジ、用紙)注) (大気試料：揮発性有機化合物分析用) 3. 共通試料3 (ホムペ-ジ、用紙)注) (底質試料1：芳香族化合物分析用) 4. 共通試料4 (ホムペ-ジ、用紙)注) (底質試料2：ダ イオキシ ン類分析用)	

(注) 分析結果報告の方法を で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

大気試料は、洗浄した容器(キャニスター、6リットルのものに限る)を準備できない機関は参加できません。

(財)日本環境衛生センター 殿

平成18年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成18年 月 日

機関名

印